

## 第1章 平成20年度PRTR届出データの前年度との比較

### ～届出件数・排出量・移動量ともに例年にない減少～

図1に平成20年度と平成19年度の届出件数、排出量及び移動量の区分ごとの比較を示します。平成20年度は、平成19年度と比べて届出件数、排出量・移動量ともに減少しており、過去の状況と比べても非常に大きな落差となっています。

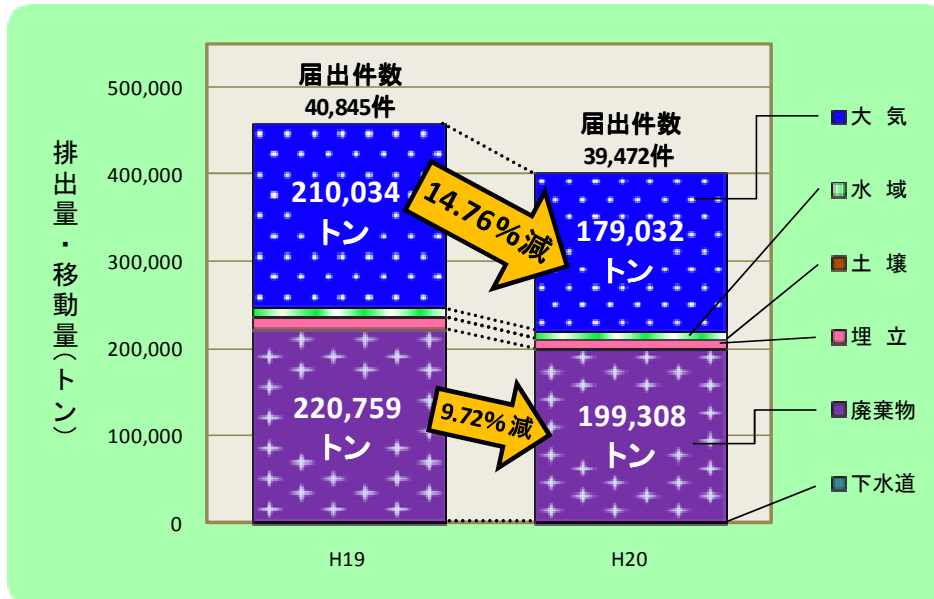


図1 届出件数と排出量・移動量区分の平成20年度と平成19年度の比較

平成15年度から平成19年度まで、届出件数は40,000～41,000件とほぼ横ばいで推移していましたが、平成20年度は平成19年度に比べ、1,373件の大幅な減少となっています。特に減少が大きい業種は燃料小売業(▲686件)、自動車整備業(▲228件)及び電気機械器具製造業(▲91件)となっています。

排出量及び移動量で見ると、平成19年度までは毎年2～4%程度の減少率でしたが、平成20年度は平成19年度に比べ排出量が15%減少、移動量も9.8%減少しており、例年の変動に比べ非常に大きな値となっています。

排出量は2年間で36,000トン減少し、特に大気への排出量が31,000トン減少となっており、減少全体のほとんどを占めています。排出量が減少した上位3業種は、プラスチック製品製造業、非鉄金属製造業及び輸送用機械器具製造業です。排出量が減少した上位3物質は、トルエン、キシレン並びに鉛及びその化合物です。特にプラスチック製品製造業の5,600トンの減少とトルエンの16,000トンの減少が目立っています。

移動量は2年間で22,000トン減少し、特に廃棄物としての移動量が21,000トン減少となっており、減少全体のほとんどを占めています。移動量が大幅に減少した業種は化学工業で、16,000トンの減少となっています。また、移動量が大幅に減少した物質は、トルエンの6,800トンとマンガン及びその化合物の2,600トンとなっています。